

町長コラム 第178号

美里町のこれからを思う⑨

今日は、子育て支援と少子化対策についてです。国立社会保障・人口問題研究所は、2020年に実施した国勢調査を基に、2050年までの市町村ごとの人口推計を発表しました。

美里町の0～4歳の1歳ごとの平均人数は、2020年は64人、2030年は50人、2040年は43人、2050年は37.2人でした。この数字はこれから小学校へ通う各学年の人数に相当します。

2050年の人口構成は、0～14歳人口は8.1%、15～64歳は44.5%、65歳以上は47.4%と若年人口よりも高齢人口が多くなります。

働く世代が減って高齢世代の割合が増えるため、行財政が立ち行かなくなる恐れがあり、何とかしなければなりません。政府はこども家庭庁をつくり、子育てにお金がかかることから、財政的支援や男性の育休取得などを進めています。

一方、婚姻数の減少（未婚率の上昇）や初婚年齢の晩婚化なども少子化の大きな要因です。

町では、子育ての経済的な負担を軽減するため、小中学校給食費を始め、各種予防接種費用、出産祝やこども医療費の補助などを行っています。

また、奨学金や新幹線で首都圏へ通勤・通学する新幹線代の一部補助、保育園等の主食・副食費、養育費確保支援、小中学校教材費補助なども予算化を考えています。

このように、結婚や出産に踏み切れない多くの若者の経済環境の改善も重要ですが、家族や子育てに対する希望が持てなければ、婚姻数も出生数も減少してしまいます。政府の会議では「20代後半までに共働きで結婚することができ、就業継続ができる社会の実現」を報告された委員がいます。

町でも、埼玉版スーパー・シティプロジェクトという県の支援を受け、町にある資源を活用し、雇用と税収増、経済循環など、総合的、継続的な少子化対策に効果的な施策を進め、「家族や子育てに希望が持てる社会」という難題に少しでも近づけるよう、知恵を出し、全世代の方々が幸せに、安全安心して暮らせる美里町になれるよう粘り強く進めたいと思います。

コロナ禍を経て、人と人の結びつきが大きく変わっています。時代が求める結びつきを模索し、希望の持てる社会を創造したいと思います。

4月1日から役場の組織が変わります!

住民の皆さまのさまざまなニーズに対応し、より迅速で効率的に業務を実施できる体制とするため、組織の変更を行います。

- 主な変更点**
1. 住民保険課、福祉課、保健センターの3課を再編します。
 - 2. 保健センターの各係は、役場本庁舎の以下の課へ移ります。
 - ・健康増進係→住民保険課 健康推進係（係名変更）
 - ・子育て支援係→こども未来課 子育て支援係
 - ・包括支援係（地域包括支援センター）→介護福祉課 包括支援係
 - ※ミムリン健幸ポイント事業は、教育委員会事務局 生涯学習係で実施します。
 - ※各種健(検)診、育児相談などの会場は、これまでどおり保健センターで実施します。
 - 3. 農林商工課 産業振興係が2つの係となります。→①農業振興係 ②観光商工係

住民保険課、介護福祉課、こども未来課の業務内容は、下図のとおりです。ご不明なことがありましたら、各課にお問い合わせください。

役所本庁舎

住民票・戸籍・保険・健康に関すること	介護・高齢者・障害者に関すること	妊娠・出産・子育て・こどもに関すること
住民保険課 ☎ 76-1366 住民係 住民票・印鑑証明等の交付、戸籍の届出、住民異動届など 保険年金係 国民健康保険、後期高齢者医療、特定健診、人間ドック、年金など 健康推進係 成人の検診・予防接種、がん検診等、献血など	介護福祉課 ☎ 76-5132 介護高齢者係 介護保険、要介護認定、高齢者福祉など 包括支援係 (地域包括支援センター) ☎ 76-1325 介護予防、要支援、高齢者総合相談など 社会福祉係 民生委員、更生保護、生活保護など 障害福祉係 身体・療育・精神障害者福祉、重度医療費など	こども未来課 ☎ 76-2277 こども福祉係 児童手当、こども・ひとり親・妊産婦医療費、障害児、保育、学童保育など 子育て支援係 母子手帳、こどもの健診・予防接種、育児相談、児童虐待など ※こども未来課への電話は4月1日からつながります。

保健センター

下記の事業は、これまでどおり保健センター内で実施します。ご不明な点は、役場本庁舎の各課へお問い合わせください。

- 特定健診、がん検診、こころの相談 ☎ 76-1366 (住民保険課)
- ゆうゆう広場、シニア健康あつぎ塾 ☎ 76-1325 (地域包括支援センター)
- 乳幼児健診、こどもの各種教室、育児相談、ことばの相談、発達相談 ☎ 76-2277 (こども未来課)

コミュニティセンター

ミムリン健幸ポイント事業は教育委員会事務局生涯学習係（コミュニティセンター内）が実施します。歩数計の申し込み、その他健幸ポイント事業に関することは、下記へお問い合わせください。 ☎ 76-3431 (生涯学習係)

★体組成計は、保健センターからコミュニティセンターのロビーに移ります。

美里町文化財ガイドブック2

20 毘沙門山 駒登

美里町の昔ばなし

毘沙門山は、国道二五四号の歩道橋がある駒登(西)の交差点の北東に位置している小高い丘で、町内を北方向に一望できる素晴らしい場所です。

山頂のお堂に祀られている毘沙門天は、仏法守護の神、四天王の一人で、北方を護る神様として、武装し、憤怒の形相をしています。おめでたい七福神の一人でもあり、庶民に人気の高い神でもあります。

また、この山の付近は戦国時代末頃に厩橋(前橋)から攻めてきた武田方と、鉢形北条方との激戦が展開された古戦場でもあります。

参道は、山の東から登るよう造られ、道沿いには、駒登地に柔道を広めた向笠先生伝法碑を始め、庚申塔などが立ち並んでいます。また、お堂の東北には、大正天皇御野立場記念碑があります。これは、明治



毘沙門山御野立場石碑

四十一一年秋に行なわれた陸軍大演習の際、大正天皇が皇太子のころに大演習をご覧になられた場所に、大正五年に建立された記念碑であり、現在、町の文化財(史跡)として指定されています。

※1 庚申塔：中国伝来の道教の庚申信仰に基づいて建てられた石碑。



毘沙門山遠景

※ガイドブックは、美里町コミュニティセンターで無料配布(1人1冊まで)しています。